

始良Tnテフラ

- ・約2.5万年前
- ・南九州の始良カルデラの位置から
プリニー式噴火
- ・降下火山灰が日本全国広い範囲に分布
日本海全域, 朝鮮半島, 東シナ海太平洋
四国海盆まで広く覆う

一連の噴火活動

大隅降下軽石

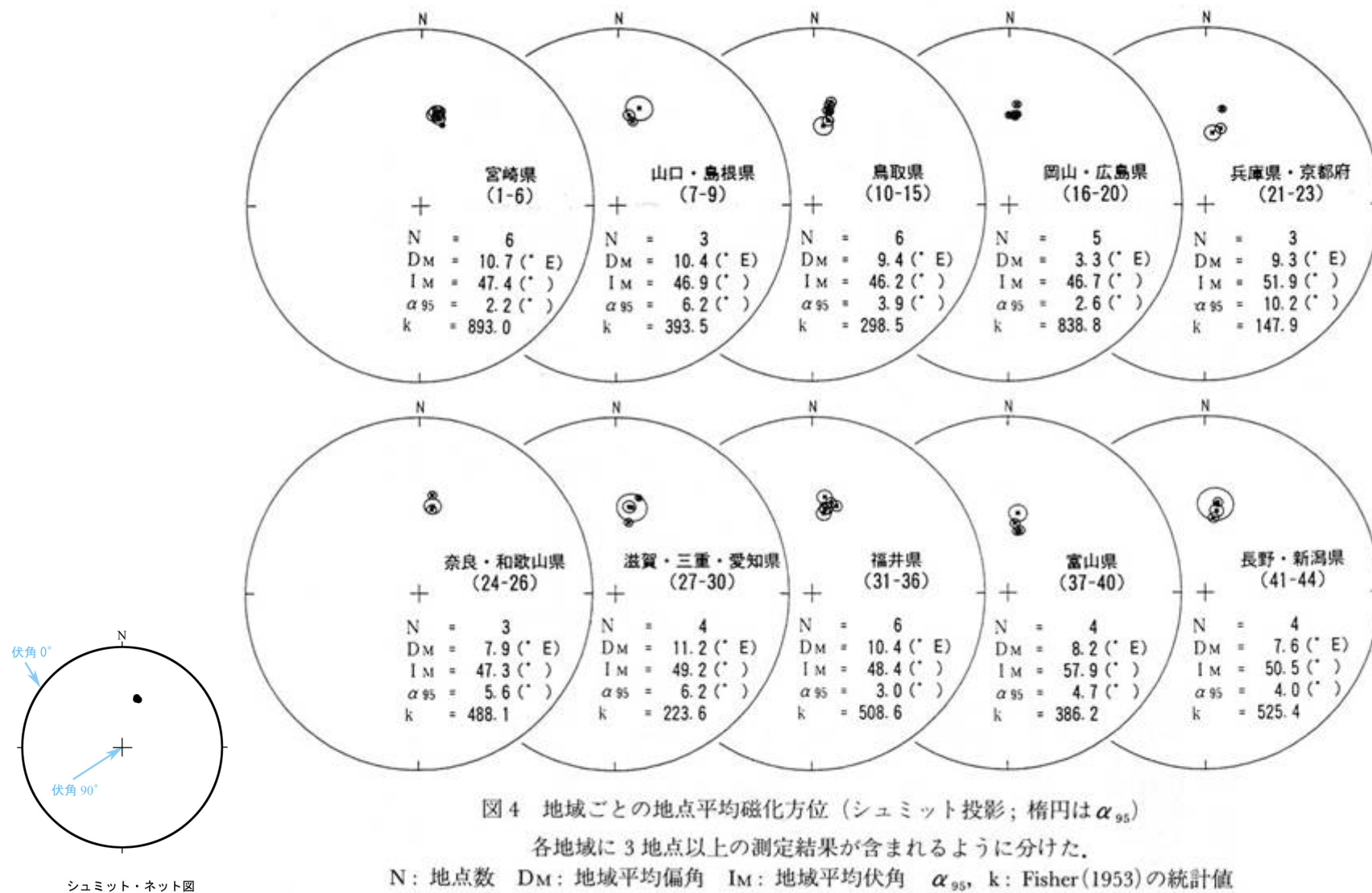
妻屋火砕流

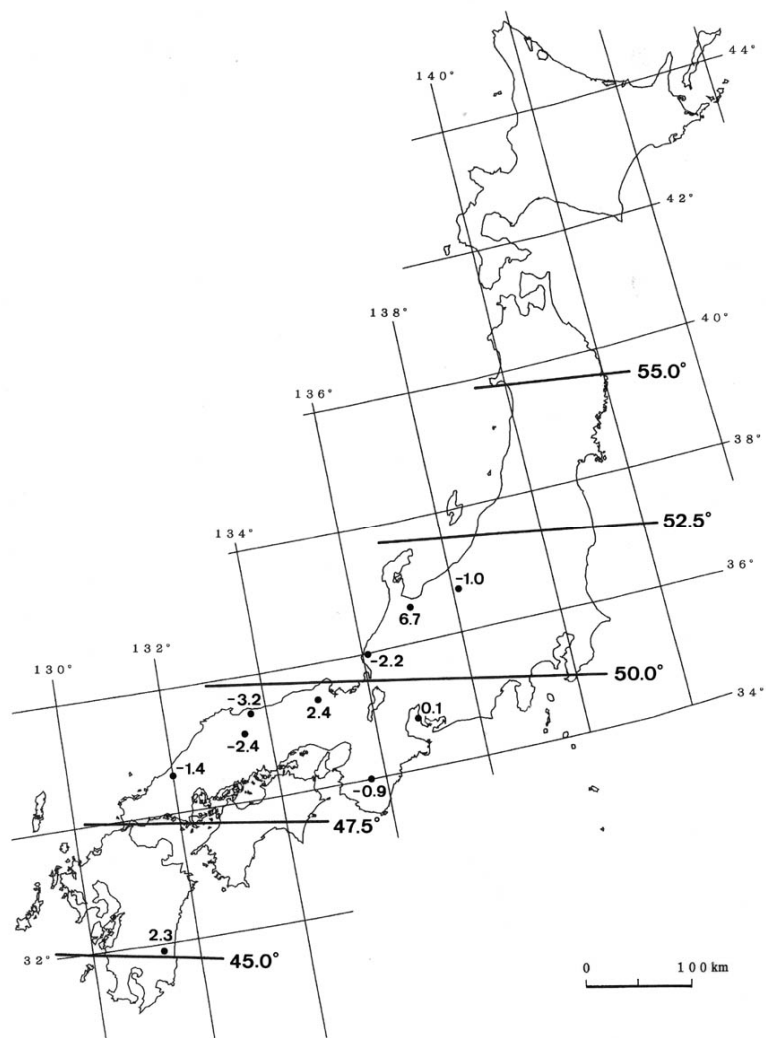
入戸火砕流 — 始良Tn火山灰

- ・バブルウォール型の火山ガラスを多量に含む
- ・火山ガラスの屈折率 $n=1.4898\sim1.501$
- ・模式地: 南関東の丹沢
富士テフラの間に挟まっている白色～黄白色の
ガラス質火山灰
- ・岩質, 走向, 粒度分布, 層位, ^{14}C 年代より,
入戸火砕流と同時に噴出した火山灰
(co-ignimbrite ash)と判明

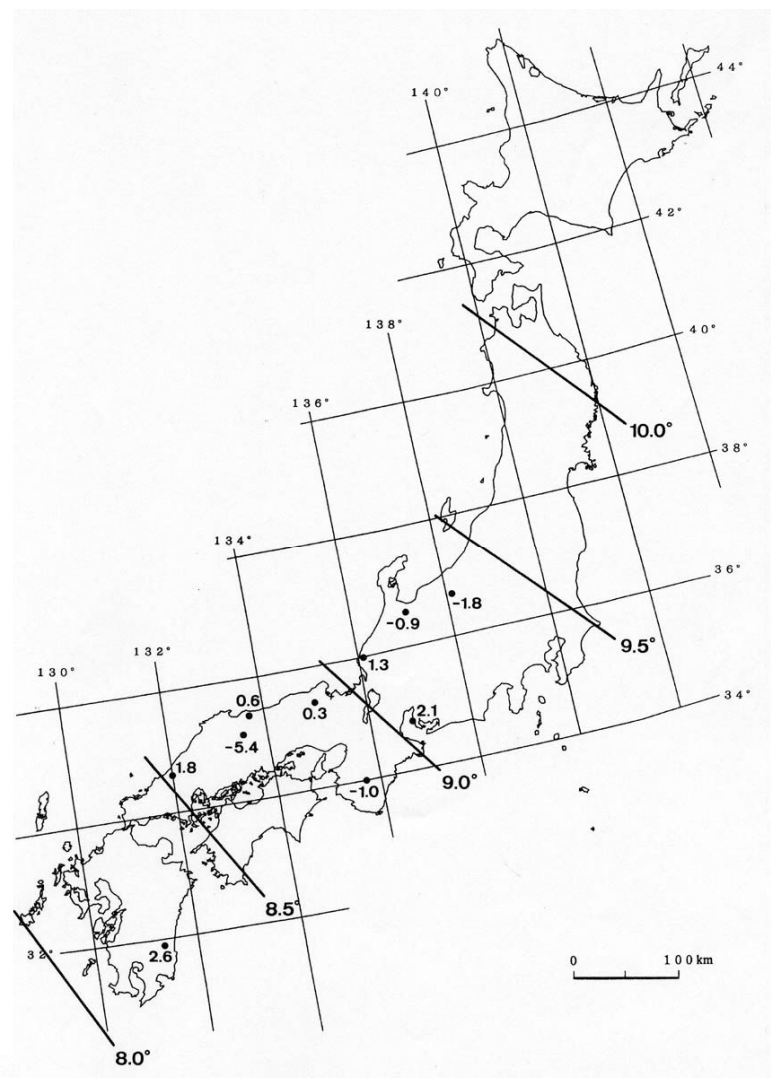


ATの試料採取地点

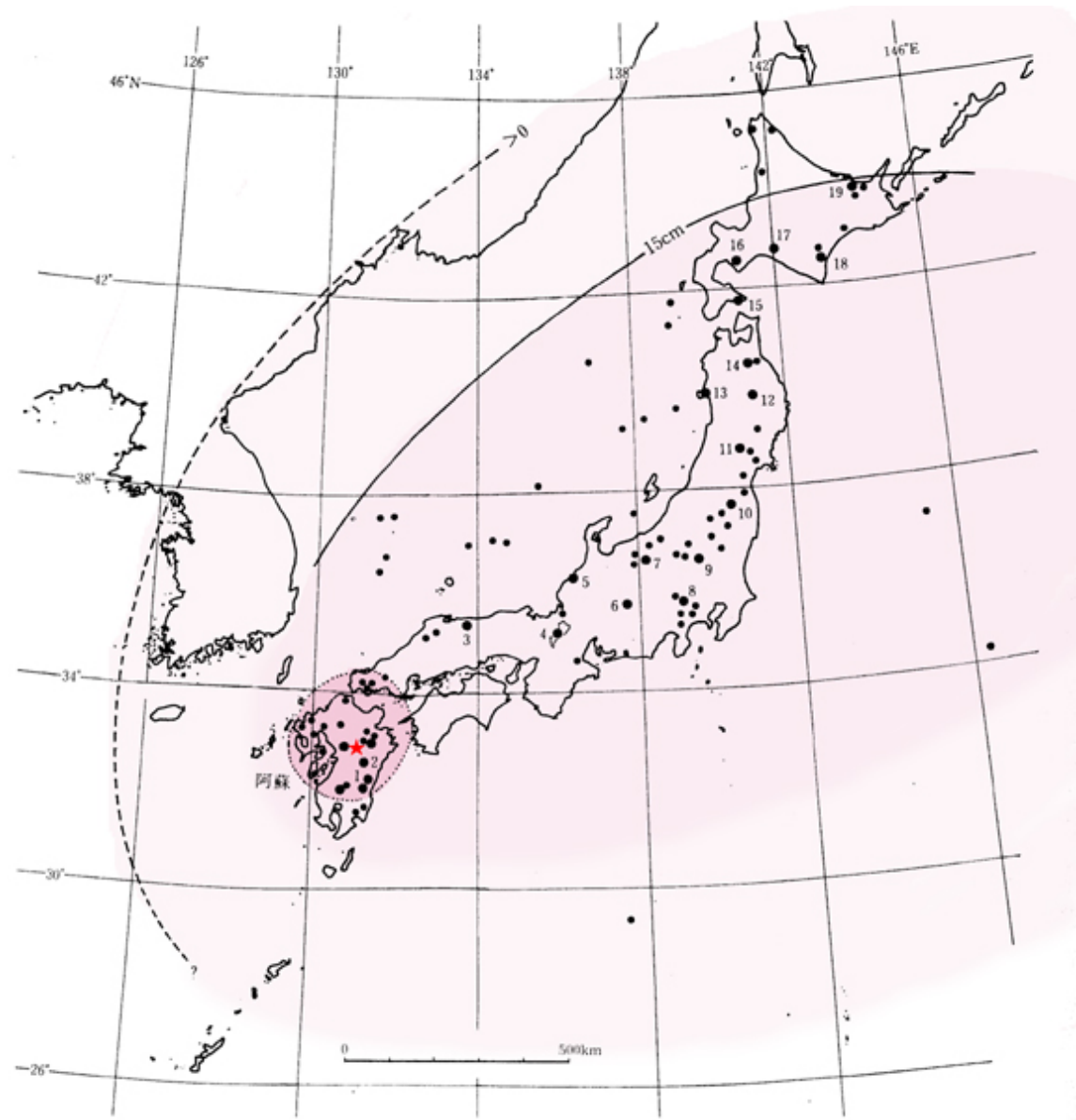




約2.5万年前の伏角図



約2.5万年前の偏角図



Aso-4火山灰の分布

測定試料

K-Ar 年代	阿蘇火山		竹田図幅地域	宮原図幅地域	外輪山
	中央火口丘降下火山灰				
89±7ka	Aso-4	B 火砕流 N	溶結凝灰岩		
		A 火砕流 N	溶結凝灰岩		
	Aso-4/3	降下火砕物			
123±6ka	Aso-3	C 火砕流			
		B 火砕流 N	溶結凝灰岩		
		A 火砕流	溶結凝灰岩		溶結凝灰岩
		W 降下軽石			
	Aso-3/2	降下火砕物			
141±5ka	Aso-2	T 降下スコリア			
		B 火砕流			
		A 火砕流 N			溶結凝灰岩
		TL 降下軽石			
		(R 火砕流, 二次流動岩)			
		(V 降下軽石)			
	Aso-2/1	降下火砕物, 溶岩 玉来川 N (象ヶ鼻・的石) 溶岩			
266±14ka	Aso-1	火砕流 N	溶結凝灰岩	溶結凝灰岩	溶結凝灰岩
		降下軽石			

(松本ほか, 1991)

(小野ほか, 1977)